

## 第7回藤沢市地域経営戦略100人委員会

と き 2010年(平成22年)3月27日(土)  
午後2時～4時30分  
と ころ 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス

### 次 第

- 1 開会
- 2 年度末に当たっての御礼
- 3 基本計画策定のフレームと考え方について
- 4 基本構想の副読本について
- 5 気づきの収集結果と分類作業について
- 6 各領域の役割と再編成の検討について
- 7 その他
- 8 閉会

事務局  
藤沢市経営企画部経営企画課  
電 話 (0466) 50-3502  
ファクス (0466) 50-8402  
e-mail kikaku@city.fujisawa.kanagawa.jp

地域経営戦略100人委員会

藤沢市新総合計画

「私たちの政府」  
基本計画の  
フレームと考え方

2010年（平成22年）3月27日

## 目 次

1	基本計画の位置づけと視点.....	1
(1)	基本計画の位置づけ.....	1
(2)	基本計画の視点.....	1
2	基本計画の構成と内容.....	2
(1)	基本計画策定に当たっての考え方.....	2
(2)	基本計画の構成.....	2
(3)	基本計画の内容.....	3
4	基本計画における「ふじさわ未来課題」の導き方.....	4
(1)	「ふじさわ未来課題」の定義.....	4
(2)	「ふじさわ未来課題」の導き方.....	5
5	基本計画の評価・見直し.....	6
6	策定プロセス.....	6
(1)	「ふじさわ未来課題」の確定.....	6
(2)	「ふじさわ未来課題」の重み付け.....	6
(3)	基本計画案の策定.....	6

新総合計画基本構想において、市民、地域と行政とが手を携えて課題に立ち向かう「私たちの政府」を築き、市民主体の藤沢づくりを私たち自身の力で進めていくことを宣言しました。

そして、その活動によって、安心して着実な生活と豊かで暮らしやすく、持続可能なまちを形成し、藤沢で暮らすことに誇りを持てるまちをつくることになること、また藤沢が子や孫やさらにその将来の世代まで住み続けたいまちとなることを追求していきます。

この「私たちの政府」による活動を実践するためには、理念や目標、情報、対象といった基本的な枠組みを市民、地域と行政が共有する必要があります。

新総合計画基本計画では、このような藤沢づくりのために必要な、将来像の実現のための施策となる戦略目標、政策などの事項を示します。

## 1 基本計画の位置づけと視点

### (1) 基本計画の位置づけ

この新総合計画基本計画では、基本構想の理念、方向性などを受け、都市ビジョン、将来像を実現するために必要な市域全体や地域の戦略目標や政策及び地域づくりのための仕組みと進め方、中長期財政計画、進捗管理などを示します。

### (2) 基本計画の視点

「私たちの政府」の仕組みの骨格と視点は、次の2点です。

#### ア 新しい公共

市民、市民ボランティア、NPO、大学、企業等の知恵と力を集め、民間と行政とのパートナーシップを強化し、それぞれの持つ資源やノウハウを活用しながら、多様な主体との公民連携による「新しい公共」を実現します。

現総合計画は、公共サービスの提供について、すべて行政が行うことを基本としています。このことから、新総合計画の基本計画においては、「新しい公共」の視点により、

- (ア) 市民、地域等が基本として担う公共サービス
- (イ) NPO、ボランティア、企業等が担う公共サービス
- (ウ) 行政が担う公共サービス
- (エ) 市民、地域と行政が連携して担う公共サービス

の観点から整理します。

#### イ 地域分権

市の権限と予算などを市民センター・公民館に分散する「市内分権」と地域経営会議と市民センター・公民館が連携して地域のめざす方向を明らかにし、自助、共助、公助によって地域づくりを進める「地域内分権」を、総称して「地域分権」といいます。

市内分権(権限・予算の移譲)と、地域経営会議と市民センター・公民館等の連携による地域づくりを進めるための地域内分権において、それをつなぐアプリケーション(目的に応じて使う専用プログラム)との間にプラットフォーム(共用の土台)をつくります。

したがって、地域分権を進めていく共通のプラットフォームを、基本計画に位置づけます。

## 2 基本計画の構成と内容

### (1) 基本計画策定に当たっての考え方

現総合計画の課題をふまえ、新たな基本計画は、「ふじさわ未来課題」から長期アウトカムの指標を導き、具体の施策等をつくりあげる設計とします。

基本計画では、長期アウトカム指標を明らかにします。

ア 長期アウトカムの設定レベルは、「政策の目標」「政策の見出し」です。

イ 長期アウトカム指標では、「藤沢づくり」（市域全体のまちづくり計画）「地域づくり」（地域まちづくり計画）のめざすべき成果と満足度を政策目標として明らかにすることとします。

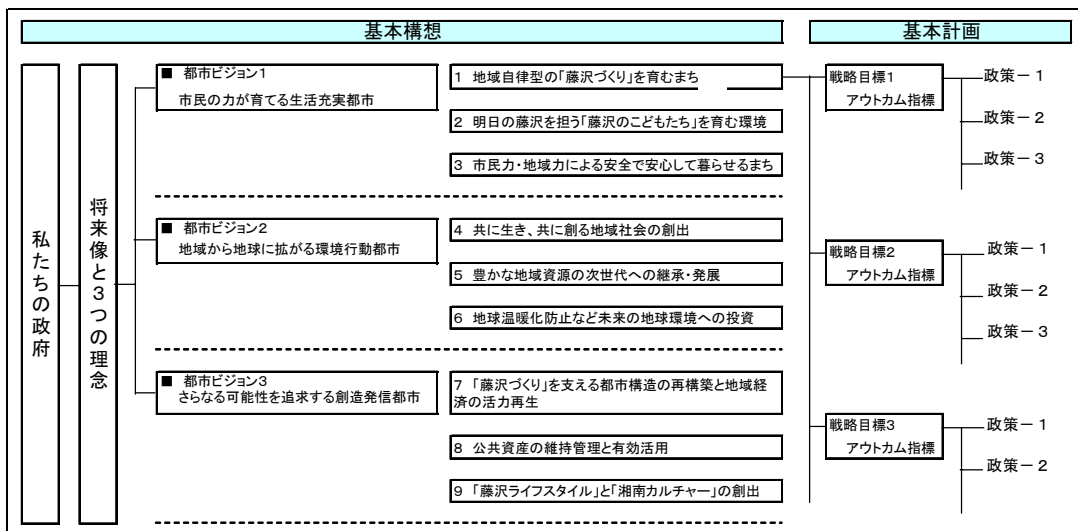


図1 基本計画のフレーム

### (2) 基本計画の構成

ア 新総合計画の中での基本計画の役割

基本計画は、将来像、都市ビジョンを実現する上で必要となる情報を体系的に示すものです。基本構想の理念を受け、情報を整理することにより、戦略目標や目標値をしめします。その目標にそって行動体系となる実施計画を導き出します。

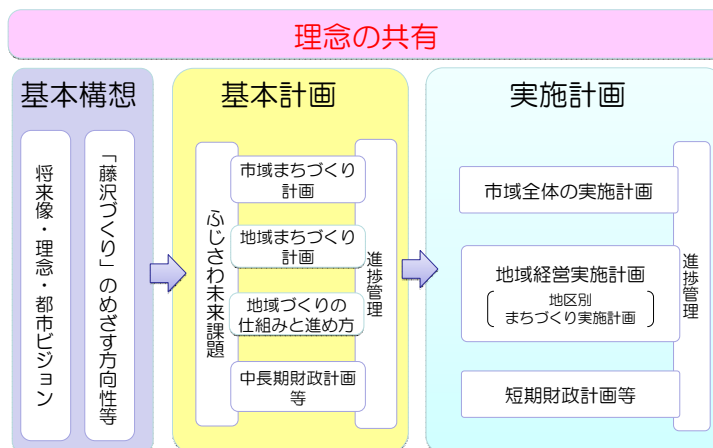


図2 新総合計画の構成

## イ 計画期間

基本計画は、前期・後期の12年間（3年毎のローリング<sup>1</sup>）とします。

### (3) 基本計画の内容

基本構想の理念を受け、次の事項を示します。

#### ア 基本計画の構成

基本計画には次の事項を記載します。

- (ア) 市域全体のまちづくり計画
- (イ) 地域まちづくり計画
- (ウ) 地域経営会議と市民センター・公民館による地域づくりの仕組みと進め方
- (エ) 進捗管理の方法
- (オ) 中長期財政計画

#### イ 基本計画の内容

- (ア) 市域全体のまちづくり計画
  - a 「都市ビジョン」と9つの「藤沢づくりのめざす方向性」を達成するための、「戦略目標」と「政策」を掲げます。
  - b 基本となる「戦略目標」とそれを支える「政策」を実現するための活動のあり方、あるべき姿と、それに対応する長期アウトカム指標を示します。
  - c 「気づき」「政策の棚卸」「地域活動の棚卸」から明らかになった「ふじさわ未来課題」を示します。
  - d 藤沢の新たな都市構造の概要を示します。
- (イ) 地域まちづくり計画
  - a 「都市ビジョン」と9つの「藤沢づくりのめざす方向性」を達成するための、地域の「戦略目標」と「政策」を掲げます。
  - b 基本となる「戦略目標」とそれを支える「政策」を実現するための地域での活動のあり方、あるべき姿と、それに対応する長期アウトカム指標を示します。
  - c 「気づき」「政策の棚卸」「地域活動の棚卸」から明らかになった地域の「ふじさわ未来課題」を示します。
- (ウ) 地域経営会議と市民センター・公民館による地域づくりの仕組みと進め方
  - a 基本構想に基づき、地域経営会議と市民センター・公民館は、地域の課題や戦略を、自助、共助、公助の視点に立ち、地域が主体となって責任ある地域自律の地域づくりを行うための仕組みと進め方を策定します。
  - b 地域経営を行い、地域分権を進めるために、各地区の地域経営会議と市民センター・公民館は、地域経営戦略100人委員会等での検討内容をふまえ、「地域市民」の声を聞きながら、原因や背景を分析し、課題と戦略を決定します。
- (エ) 進捗管理の方法
  - a 市域全体のまちづくり計画と地域まちづくり計画のPDCAサイクルに基づく進捗管理の仕組みを策定します。
  - b 政策・施策・事務事業の進捗管理システムを総合計画の執行管理システムとして位置づけるために、アウトカム指標（数値目標）を設定します。
  - c 上位目標（政策の戦略）を設定し、その評価に必要な下位目標を設定するという順序で、演繹的に目標の階層化を図り政策体系を構築します。
  - d 上位に位置する目標（大目標）には、定量的なアウトカム指標が設定されて

<sup>1</sup>ローリング 計画の実行→分析・評価→計画の修正・実行というサイクルを繰り返していく方法

いない場合、評価の際には、下位に位置する目標に係る達成度をもって上位概念の達成度が評価される仕組みとします。

(オ) 中長期財政計画

- a 現基本計画・実施計画においては、予算計上されている事業と総合計画の政策・施策と事業との関係が必ずしも明確ではありません。その結果、総合計画予算と財政計画に乖離が生じ、必ずしも中長期の財政計画と総合計画とが連動されていない状況にあります。

したがって、新たな基本計画においては「総花的に列挙されている」政策を改めるとともに、中長期財政計画の最終部分においては、公共資産の有効活用、新たな財源の確保等や歳出面においては、「新しい公共」「行政改革」などの視点を考慮した上で検討する必要があります。

- b 財政計画の背景には、人、もの、金、情報、時間等といった行政経営資産の再配分の視点が重要であり、「新しい公共」の観点から総合計画を資源配分の中長期財政計画を連動させる工夫が必要となります。

#### 4 基本計画における「ふじさわ未来課題」の導き方

##### (1) 「ふじさわ未来課題」の定義

課題とは、あるべき姿と現実とのギャップであり、このギャップを埋める活動の方向を定め、到達点を「見える化」することにより、着実に目標に到達することが可能となります。

市民力・地域力・行政力を発揮して分析、解明する課題を、「ふじさわ未来課題」とし、基本計画では、あるべき姿と現実とのギャップであり、このギャップを埋める活動の方向を定め、到達点を「見える化」することにより、着実に目標に到達することが可能となります。

市民力・地域力・行政力を発揮して分析、解明する課題を、「ふじさわ未来課題」とし、基本計画では、基本構想で示した流れにそって進めるべき具体的な目標や戦略を示していきます。

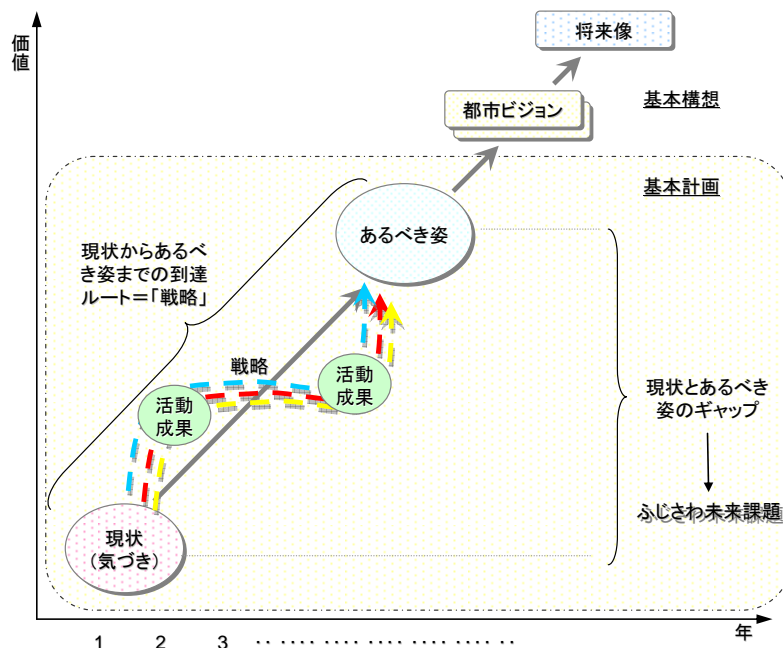


図3 基本計画の課題解決モデル

## (2) 「ふじさわ未来課題」の導き方

基本計画における「ふじさわ未来課題」は、「気づき」「行政政策の棚卸」「地域活動の棚卸」より導き出します。

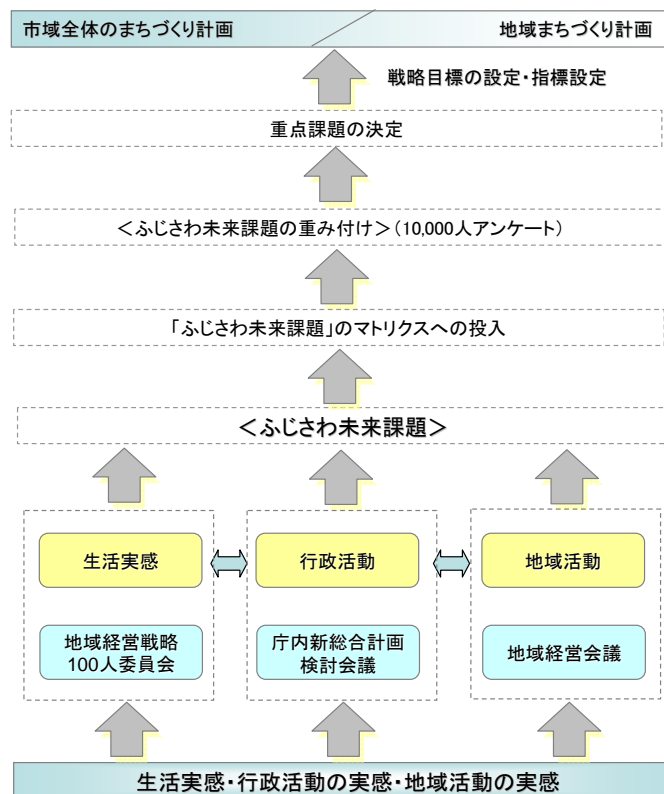


図 4 気づき・棚卸とふじさわ未来課題・計画

### ア 生活実感からの「気づき」の収集

市民に対し広範に実施した13,400件の「気づき」調査（収集）から、生活実感に基づく地域のニーズ、課題を収集し、「ふじさわ未来課題」を導き出します。

### イ 行政政策の棚卸

(ア) 基本構想に定められた「私たちの政府」の仕組みと「藤沢づくりのめざす9つの方向性」を前提に、行政実感から現政策・施策を精査し、不足する施策、目標を達成した施策、「めざす方向性」にそぐわない施策、新規で入れ込む施策等を整理し、「ふじさわ未来課題」に加えます。

(イ) 整理については、基本構想における「新しい公共」「地域分権」の視点から行います。特に「新しい公共」については、次の視点から整理するものとします。

### ウ 地域活動の棚卸

地域内分権を進めるため、自治会・町内会、ボランティア団体、NPO、大学、起業等が地域で行っている自助、共助による活動を把握し、「新しい公共」の視点からパートナーシップの関わり方を整理し、「ふじさわ未来課題」とします。



## 5 基本計画の評価・見直し

予測困難な社会情勢，経済情勢の変化が生じた場合は，必要に応じて基本計画を見直すものとします。

## 6 策定プロセス

基本計画は，市民力・地域力・行政力を発揮して策定します。  
策定プロセスと各会議体の役割分担については，次のとおりとします。

### (1) 「ふじさわ未来課題」の確定

ア 地域経営戦略100人委員会は，市民アンケートにより収集した，生活実感に基づく，「気づき」について，「ふじさわ未来課題」の分類表への埋め込みを行います。

イ 庁内新総合計画検討会議とわいわい・がやがや・わくわく会議は，基本構想の理念と5つの基本条件を踏まえ，現在の藤沢を取りまく将来予測に基づく藤沢の課題（「政策課題の棚卸」）や「藤沢の強みと弱み」に基づく課題を抽出し，「ふじさわ未来課題」の分類表への埋め込みを行います。

ウ 市民センター・公民館と地域経営会議は，自治会・町内会，市民ボランティア，NPOなどの地域活動の主体と内容を整理（「地域活動の棚卸」）して，課題を抽出し，「ふじさわ未来課題」の分類表への埋め込みを行います。

エ 総合計画審議会は，基本計画の策定プロセスを検討・確認し，「ふじさわ未来課題」の分類表の取りまとめや課題に対する助言等を行います。

### (2) 「ふじさわ未来課題」の重み付け

ア 各会議体から抽出された「ふじさわ未来課題」を基本構想の「都市ビジョン」と「9つの方向性」に基づき整理し，事務局は，重要度満足度の観点から，無作為抽出した市民を対象とした10,000人アンケート調査を行い，課題の重み付けを行います。

イ 重み付けされた課題のうち，市域で共通して取り組む課題は，市域全体のまちづくり計画に，また地域固有の課題は，地域まちづくり計画へと各計画への割振りを行います。

ウ 地域経営戦略100人委員会・地域経営会議では，重み付けされた結果に基づき，課題の深掘り（分析）を行います。

### (3) 基本計画案の策定

ア 市民センター・公民館と地域経営会議は，「ふじさわ未来課題の重み付け」結果及び地域経営戦略100人委員会での検討結果を勘案して，地域まちづくり計画（案）を策定し，地域経営戦略100人委員会において意見交換を行います。

イ 庁内新総合計画検討会議等は，「ふじさわ未来課題の重み付け」結果及び地域経営戦略100人委員会での検討結果を勘案して，市域全体のまちづくり計画（案）を策定します。

ウ 総合計画審議会では，総合的専門的見地から地域まちづくり計画（案）及び市域全体のまちづくり計画（案）に対し意見提案を行うとともに，基本計画案の取りまとめを行います。

- エ 総合計画審議会は、取りまとめに当たり、地域経営戦略100人委員会との合同協議を行います。
- オ 討論型世論調査「藤沢のこれから、1日討論」では、基本計画の役割分担値を期待値とした場合に、当事者として活動できるのか、その障壁となる課題は何かについての討論を行い、目標値を調査するものとします。

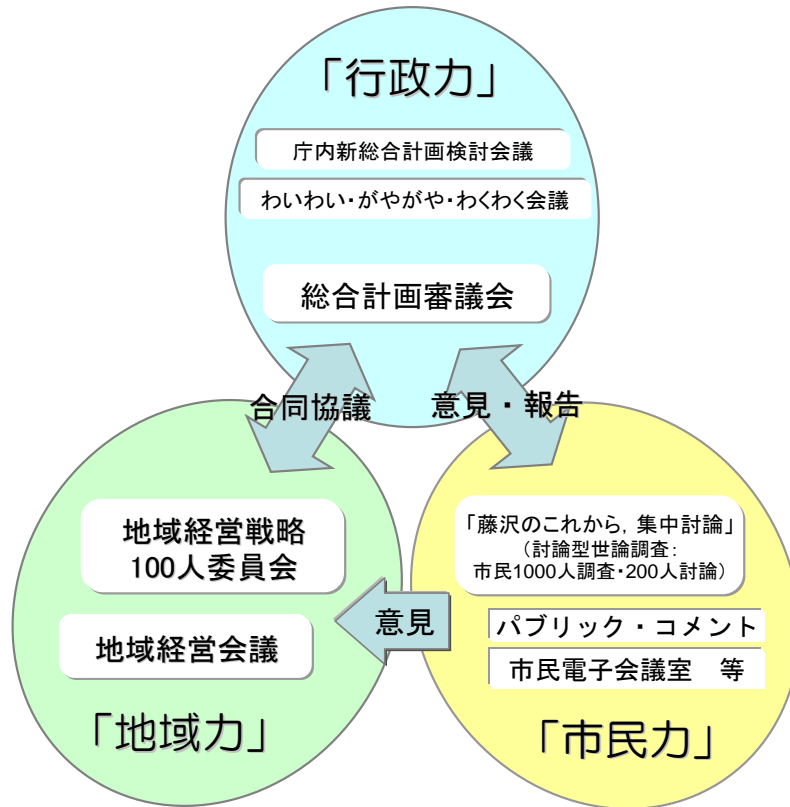


図 5 三層構造の策定プロセス

## 基本構想の副読本について

総合計画審議会では、基本構想の理念や将来像を広く理解いただけるよう、副読本を検討しています。

第8回総合計画審議会（3月6日開催）では、次のような意見が審議会委員より出されています。100人委員会委員の皆さんからも、別紙「副読本に関する意見提案シート」により、意見や情報をお寄せください。

提出される方は、4月2日までに、経営企画課にファクス（50-8402）、電子メール（kikaku@city.fujisawa.kanagawa.jp）又は持参でお願いします。

### 総合計画審議会委員からの意見

- ・ 対象は、小学生5年生～中学生かと思う。
- ・ 誰をターゲットにするか悩ましい。その決定にあたっては100人委員会の委員もプロセスに関わって欲しい。教育現場での活用は重要。小学生、中学生による「私の総合計画」という考え方もよいのではないか。
- ・ 教育委員会、教職員から理解してもらってから配布した方が浸透していくと思う。
- ・ 教育委員会の意見を聞きながら藤沢市の写真などを入れた方がよい。
- ・ 札幌市の都市計画の副読本の作成過程では、都市計画の担当者は全く関与しない形で、市役所に入ったばかりの人達がつくってきた。
- ・ 編集方法（マンガ、映像）についてはもう少し検討する必要がある。

## 副読本に関する意見提案シート

対象（小学生，中高生等），編集方法（映像，絵本，漫画等），内容（物語風，クイズ形式，キャラクター等）について，ご意見等がありましたらお願いします。

対象について

編集方法について

内容について

ありがとうございました。4月2日までにお寄せください。

## 気づきの収集結果と分類について



平成22年3月27日

地域経営戦略100人委員会 (Team238)

### 1. 取り組みへの考え方

2

#### 基本計画 (II 基盤・基準)

「生活者の実感」を起点に

生活者の発見（現場の知）に基づく情報の体系化

地域経営の試行錯誤を進めていく

活動の裏付け・論拠・尺度を明確にする

「藤沢づくり（全市）」と「地域づくり（13地区）」

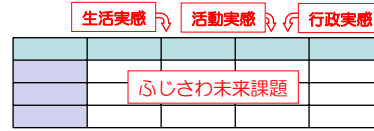
地域の個性を出しつつ、バラバラにならない共通点を持つ

## 2. 「ふじさわ未来課題」の整理・活用方法

3

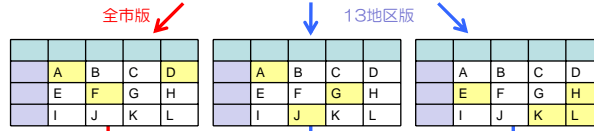
### 【ふじさわ未来課題の整理表を作成】

地区・領域から集めた生活実感・活動実感・行政実感を、相乗効果が出るように活用するために、一つの枠組みに整理する  
(深掘り時に活用するために、もとの発言や出所がわかるようにしておく)



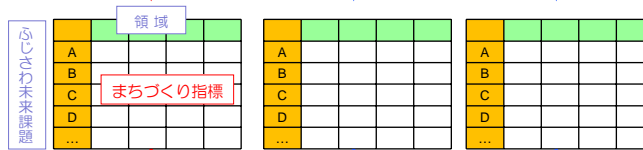
### 【地域ごとのメリハリ】

全市調査を行い、地域ごとにメリハリ付けをする  
(※ 統計的アンケート調査を実施)



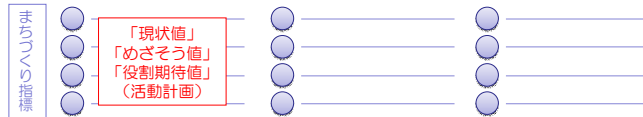
### 【まちづくり指標の設定】

“気づき”の深掘りを経て、「ふじさわ未来課題」に取り組む際の「まちづくり指標」を設定する



### 【指標達成への取り組み方を設定】

「まちづくり指標」の目標設定とその達成に向けた主体と活動の計画を設定



第7回地域経営戦略100人委員会(2010/3/27)

## 3. 「気づき」を基にした「ふじさわ未来課題」の設定作業

4

### ■ 具体的な作業

#### <作業の流れ>

#### <先行分析(3000件)の作業例>

#### 1. 回答コメントのデータ化

共通フォーマットにデータ入力

#### 2. 入力データから「理想の状態」を抽出

コメントをワンフレーズの「理想の状態」に分解する。  
※ 文意から読み解き、複数の意味があるものは複数に分解する  
⇒ 5つの設問で計11,365個の発言に分解

ID	元のコメント	理想の状態(1)
1	近くに海があり、海岸もきれい	
1	近くに海があり、海岸もきれい	近くに海があること
1	近くに海があり、海岸もきれい	海岸がきれいなこと

第7回地域経営戦略100人委員会(2010/3/27)

■ 具体的な作業

<作業の流れ>

<先行分析（3000件）の作業例>

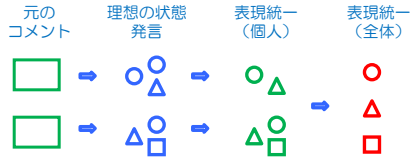
3. 「理想の状態」の  
表現統一

- ⇒ 抽象度をあげることで類似情報を集約し、判断しやすくする
- ⇒ 集約した表現と元のコメントはひも付けをしておく。課題の深掘りや指標設定時、実施計画検討時に活用。

- ① 作業員1人1人が、まず表現の統一をする  
設問1：2007発言 ⇒ 84項目  
設問2：2293発言 ⇒ 100項目  
設問3：2358発言 ⇒ 81項目  
設問4：2368発言 ⇒ 82項目  
設問5：2339発言 ⇒ 261項目

- ② 作業チーム全体で、表現の統一をする  
608発言 ⇒ 205項目

【イメージ図】



■ 今日 「ふじさわ未来課題」を整理する「集約表（マトリックス）」を作成

- 1. 基本構想で提示された方向性（「藤沢づくり」の9つの方向性）から、そのグループ（地区・領域）で、作業を担当するものを設定。

【藤沢づくりの9つの方向性】

1. 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち
2. 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境
3. 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち
4. 共に生き、共に創る地域社会の創出
5. 豊かな地域資源の次世代への継承・発展
6. 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資
7. 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生
8. 公共資産の維持管理と有効活用
9. 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

- 2. 先行分析（3000件＝全体の約1/4）を通じて集約された205項目から、1に関連するものを抽出。
- 3. 2をグループ化 → 発表  
→ 「ふじさわ未来課題」を分かりやすく整理するための「集約表」の見出しのヒントとして活用（コーディネータチームで集約）

■ 次回 設定した「集約表」への仕分け作業

参考) 青森市まちなかの生活価値表 (生活価値マトリックス)

縦軸 : 生活者がまちなかで行う「生活場面(状況)」で設定

横軸 : まちなかの魅力や期待している経験として挙げられた「価値項目」で設定

	安心だ	楽しい	お手頃・気軽・楽ちんだ	つながり	ためになる・役に立つ
買う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思い立ったとき買い物に出かけやすい</li> <li>・安全で質のよいものを選べる・買える</li> <li>・ギフトも、お惣菜も、お土産も買える</li> <li>・選んだれたまま、なじみのお店で買える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなお店や品物と出合える</li> <li>・新しい流行、ファッションがわかる</li> <li>・なじみのお店で楽しく買い物できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ついで買い」がしやすい(散歩しながらなど)</li> <li>・「とっさ買い」がしやすい(夕食前も後、会合の前、仕事帰りなど)</li> <li>・「ちょっと買い」や「出来合いのもの」がしやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なじみのお店がある・融通が利く</li> <li>・おまけやスタンプ、いろいろサービスをしてもらえる</li> <li>・お店で会話を楽しみ時間をつぶせる</li> <li>・子どもといっしょに買い物ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よいもの、新しいもの、珍しいものなどがある</li> <li>・品物やサービスに詳しくなれる</li> <li>・新しい店、変わった店、きれいな店が見つかる</li> </ul>
食べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でも大勢でも子連れでも食事ができる</li> <li>・地域の豊かな山海の幸を食べられる</li> <li>・安全で質の良い食材を食べられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ歩きを楽しめる</li> <li>・及んだり家族とくつろいで食事を楽しめる</li> <li>・おしゃれな食事が楽しめる</li> <li>・和洋中いろいろな食事を楽しめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前や会食、屋台やファストフード、いろいろな形で食事できる</li> <li>・料理や値段の幅が広く、お手頃なものがある</li> <li>・季節感やおしゃれさ、気分に合わせて食事ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なじみのお店で食事ができる</li> <li>・及んだり家族といっしょにくつろいで食事ができる</li> <li>・郷土食や地域の食材を使った食事ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レストランから手軽な吧台まで、目的や時間にあわせて食事ができる</li> <li>・高級・日給、手前にあわせていろいろなメニューを楽しめる</li> <li>・にぎやか、しんみり、おしゃれ、気分にあわせて食事ができる</li> </ul>
遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが元気に遊べる場所があること</li> <li>・夏でも冬でも、朝でも夜でも遊べる</li> <li>・屋内でも屋外でも遊べる</li> <li>・まちなかの緑や海を楽しみながら遊べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな楽しみ、遊びができる(図書館ネットカフェもつりもヨットも)</li> <li>・いつでも、四季折々に楽しみがある(ねふたも雪祭りも)</li> <li>・いろいろな友人と趣味や遊びを楽しめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふだん、お気軽に時間をつぶしていられる</li> <li>・お祭りやイベントに足を運びやすい</li> <li>・一人でも、及んだり家族といっしょでも楽しめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味や嗜好の仲間を作りやすい</li> <li>・身近な地域の祭りやイベントがある</li> <li>・いろいろな世代の人が集まってくる</li> <li>・子どもたちの遊ぶ声や姿がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味を始めたりの同好の集いを開きやすい</li> <li>・ねふたなどを毎日楽しみ自慢できる</li> <li>・観音やイベント・コンサートを楽しめる</li> </ul>
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生や親の目がゆき届いている</li> <li>・まちの人が子どもに気軽に声をかけてくれる</li> <li>・教育・文化の施設に行き来しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館で静かに知的に楽しめる</li> <li>・同じ目的で学ぶ人と出合える</li> <li>・青森をよく知る機会が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館など文化施設や教職講座に行きやすい</li> <li>・気軽に読書していられる(図書館も喫茶店も)</li> <li>・選んだり楽しみながら学びやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもも大人もいっしょに学んだりお話ししやすい</li> <li>・ふだんからまちの文化に触れられる</li> <li>・図書館や学校が近くて集まりやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、進学塾、図書館など学ぶ環境が充実している</li> <li>・趣味や専門の勉強を続けやすい</li> <li>・流行やファッションを知りやすい</li> <li>・歴史や文化、アートに親しみやすい</li> </ul>
住む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご近所の居力がある(商店街や町会)</li> <li>・病院や働く場所が近くて安心できる</li> <li>・冬の暮らしの負担(雪かき)が小さい</li> <li>・何かのとき近くの誰かに相談しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青森らしい祭りやイベントが近くにある</li> <li>・身近な風情に青森らしさがある</li> <li>・子どもたちや若者とふれあえる</li> <li>・冬も歩きやすく、暮らしを楽しめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス・電車にも、自転車にも乗りやすい</li> <li>・歩く範囲でだいたいの用が足せる</li> <li>・近くに病院や働く場所がある</li> <li>・天候や季節をあまり気にしなくていい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの人が優しく、地域を好きの人が多い</li> <li>・いろいろな世代や地域の人と知りやすい交流できる</li> <li>・他人とほどよい距離感がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい発見や驚きがある</li> <li>・いろいろな気分転換ができる</li> <li>・自然、季節を感じながら暮らせる</li> <li>・住みたい、住み続けたいと思える</li> </ul>





グループの区分

新たな領域	公募時の領域
<p>1 生活充実グループ  <b>【都市ビジョン1】</b> 市民の力が育てる生活充実都市に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち            自助・共助・公助, 市民活動, 地域団体活動, 行政改革, 財政改革, NPM (民間活力)</li> <li>・ 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境            子育て・教育, 青少年, 三者連携, 大学, 出産・産褥・小児医療</li> <li>・ 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち            安全・安心, セーフティネット, 福祉・医療, 健康, スポーツ</li> </ul>	<p>地域まちづくり            地域コミュニティ            子育て・教育            安全・安心            福祉・医療</p>
<p>2 地域・地球ネットグループ  <b>【都市ビジョン2】</b> 地域から地球に広がる環境行動都市に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共に生き, 共に創る地域社会の創出            男女共生, 多文化共生, 共生社会, いじめ, 差別, 平和, 権利, 世代間交流</li> <li>・ 豊かな地域資源の次世代への継承・発展            自然環境, 歴史・伝統文化, 慣習, 付加価値, 観光</li> <li>・ 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資            地球環境, 生活環境, 環境産業, サステナブル社会, 産学官連携</li> </ul>	<p>共生            子育て・教育            産業            芸術・文化            環境</p>
<p>3 創造・発信グループ  <b>【都市ビジョン3】</b> さらなる可能性を追求する創造発信都市に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生            都市基盤, 土地利用, 交通, 産業, 雇用</li> <li>・ 公共資産の維持管理と有効活用            公共資産活用, NPM (アセット・マネジメント)</li> <li>・ 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出            社会文化, 地域ブランド, 人材育成, 国際交流</li> </ul>	<p>地域まちづくり            産業            芸術・文化            地域コミュニティ            子育て・教育</p>